

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成 19 年 10 月 11 日 (2007.10.11)

【公開番号】特開 2002-73538 (P2002-73538A)

【公開日】平成 14 年 3 月 12 日 (2002.3.12)

【出願番号】特願 2000-256130 (P2000-256130)

【国際特許分類】

**G 0 6 F 13/38 (2006.01)**

**H 0 4 N 5/907 (2006.01)**

**H 0 4 N 7/14 (2006.01)**

**H 0 4 N 5/765 (2006.01)**

【F I】

G 0 6 F 13/38 3 1 0 F

H 0 4 N 5/907 B

H 0 4 N 7/14

H 0 4 N 5/91 L

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 8 月 27 日 (2007.8.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

データの入力、処理、出力を行うと共に、バスとの間でのデータ転送を行うための一時的な記憶メモリを有し、バス上に接続されるデータ処理回路であって、

前記記憶メモリに格納されているデータ量を検出する検出手段と、

該検出手段で検出したデータ量に応じて、前記データ転送で転送するデータの転送長を調整する調整手段と

を備えることを特徴とするデータ処理回路。

【請求項 2】

前記データ処理回路は、バス上に設けられたメモリとデータ通信することを特徴とする請求項 1 に記載のデータ処理回路。

【請求項 3】

前記調整手段は、前記転送長の調整に、前記データ量と前記転送長との対応関係を示すテーブルを用いることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載のデータ処理回路。

【請求項 4】

前記データ量と前記転送長との対応関係は、プログラムにより可変であることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載のデータ処理回路。

【請求項 5】

請求項 1 に記載のデータ処理回路を複数備えることを特徴とする電子機器。

【請求項 6】 複数の動作モードを備える請求項 5 に記載の電子機器であって、

前記複数の動作モードのうち、使用する動作モードを選択する選択手段を備えることを特徴とする電子機器。

【請求項 7】

前記データ処理回路には、

撮像し、デジタルデータに変換するキャプチャ回路、

撮像した画像データに対する編集処理を行う画像処理回路、  
表示を行う表示回路  
が含まれることを特徴とする請求項 5 又は 6 に記載の電子機器。

【請求項 8】

更に、前記データ処理回路として、回線を介して通信する通信回路を備えることを特徴とする請求項 5 乃至 7 のいずれか 1 項に記載の電子機器。

【請求項 9】

データの入力、処理、出力を行うと共に、バスとの間でのデータ転送を行うための一時的な記憶メモリを有し、バス上に接続されるデータ処理回路の制御方法であって、

前記記憶メモリに格納されているデータ量を検出する検出工程と、

該検出工程で検出したデータ量に応じて、前記データ転送で転送するデータの転送長を調整する調整工程と

を備えることを特徴とするデータ処理回路の制御方法。

【請求項 10】 請求項 1 に記載のデータ処理回路を複数備えることを特徴とする電子機器の制御方法。